

令和5年度 学校要覧

仙台市立広陵中学校校歌

青い風 若いちからを

作詞 吉田 秀三
作曲 曾我 道雄

一、青い風 船形山に

若い力の たくましく
緑の樹々は 光あふれて
夢と希望の 朝明けの雲
いのち鍛えよ 広陵の丘

二、水清く 広瀬の流れ

こころ映して 晴れやかに
ふるさと栄え 穂波きらめく
愛と勇気の うるわしい友
知恵を磨こう 広陵の時

三、高い星 みやぎの空へ

願いさわやか 歩みゆく
輝くつばさ 世界もとめて
胸は高鳴る 青春の虹
明日を拓こう 広陵の道



仙台市立広陵中学校

〒989-3432 仙台市青葉区熊ヶ根字石積1番地の2

TEL: 022-393-3553 FAX: 022-391-2368

URL: <http://www.sendai-c.ed.jp/~koryo/>

学校経営計画《グランドデザイン》

生徒の実態

- ・素直で明るく真面目である。
- ・学校行事に一生懸命に取り組む。
- ・勤労意欲が高く自分の役割を果たす。
- ・基礎的な学習内容が定着できていない生徒が多い。
- ・集団に依存し主体性に欠ける。
- ・学区が広くスクールバスや公共機関、自家用車で登校する生徒がほとんどである。

生徒の課題

- ①主体的に学ぶ力の育成
- ②言葉による表現力の育成
- ③集団に依存しない主体性の育成

保護者や地域の状況

- | | |
|---|--|
| <p>＜保護者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に協力的で理解がある。 ・3世代同居が多く子どもを大切にしている。 ・3つの地区の保護者がおり、それぞれ歩み寄りが求められる。 | <p>＜地域＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み限界集落になりつつある。 ・学校に協力的である。 ・学区には熊ヶ根・作並・大倉の3地区があるが3つの地区が協働することが今後の課題である。 |
|---|--|

重点的に育成を目指す資質・能力

- | | |
|---|--|
| <p>＜知識・技能＞</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得しながら、社会の様々な場面で既存の知識・技能と関連させ活用させていくことによる知識・技能の定着</p> <p>＜思考力・判断力・表現力＞</p> <p>論理的思考力・批判的思考力・自分の言葉で分かりやすく伝える力</p> | <p>＜主体的に学ぶ力＞</p> <p>自ら課題を見だし解決しようとする力、自ら進んで学習に取り組み新しい知を獲得しようとする力</p> <p>＜自己形成力＞</p> <p>個性を磨き、よりよい自分を目指し自立した人間になろうとする力、自らの命を大切に、他を思いやり、温かい人間関係を構築する力</p> <p>＜地域貢献力＞</p> <p>郷土の自然や文化を愛し地域を担っていこうとする力</p> |
|---|--|

中長期的目標

目指す学校像

- ＜笑希望校＞
小規模校だからこそ互いを認め合い笑顔と希望が溢れる学校
- ＜未来貢献を支援する学校＞
自ら夢や希望を持ち実現に向けて自ら考えたり行動できる自立した生徒を支援する学校

学校教育目標

生きる力を育むとともに個性を生かす教育の充実に努め「郷土を愛し、郷土を育てる生徒」を育成する

校訓：道を拓く

目指す教師像

- ＜たくましい精神力＞
教育者としての高い倫理観と使命感、情熱を持ち続ける教員
- ＜豊かな人間性＞
人間味にあふれ、生徒・保護者・地域・同僚との関わりを大切にしている教員
- ＜確かな指導力＞
専門性や実践的な指導力の向上を目指し、学び続ける教員

学校で目指す重点目標

令和5年度重点目標

- 1 主体的に学ぶ力の育成
自ら課題を見つけ
自ら課題解決に向かう力

- ・ICTを活用した情報活用能力の育成（※デジタルドリルの効果的な活用）
- ・小中連携した学力向上対策と学習支援
- ・自ら課題を見つけ、課題解決に向かう学習環境づくり
- ・ノーチャイム
- ・100益学習プリントの個別最適な学びへの深化（デジタルとアナログのハイブリッド方式の定着）

- 2 表現力の育成
自分の言葉で
相手に伝える力

- ・互いを理解し思いやる心の育成
- ・善悪を判断する規範意識の醸成
- ・「だめなことはだめ」と言える関係性の構築
- ・p4cを活用した安心して自分の考えを表現できる環境づくり
- ・生徒の約束30ヶ条の活用
- ・縦割り活動の充実（清掃や行事）
- ・小中交流を通じた自己有用感の醸成

- 3 地域貢献力の育成
郷土の自然や文化を愛し
地域を担っていこうとする力

- ・「3つのふるさと」を持つ広陵中であることを理解し、互いのふるさとを尊重し大切にする気持ちを醸成する。
- ・未来の創り手となるため、自らの可能性に挑戦し、地域の行事や取組に積極的に参画する。
- ・小中連携の深化
- ・地域の高齢者への温かい支援
- ・熊ヶ根駅やバス停等の清掃活動
- ・「故郷復興プロジェクト」震災復興

短期目標

三者協働で目指す重点目標

- 4 協働型学校評価到達目標
自ら課題を見つけ自ら課題解決に向かうことができる生徒を80%にする

協働型学校評価における今年度の重点目標

- ・毎日持ち帰るタブレット端末を活用し、家庭学習でも自らの課題に取り組む生徒
- ・3つのふるさとを愛し伝統文化を引き継ぎ地域に貢献する心の醸成

三者による改善活動

学
校

- ・デジタルドリルの積極的な活用
- ・メディアリテラシーの推進
- ・広陵ソーランと広陵太鼓の発表
- ・地域行事への積極的な参加
- ・生徒会による挨拶運動の活性化

家
庭

- ・バランスのよい基本的な生活習慣の確立と家庭学習の定着に向けた声掛け
- ・生徒の夢や希望を育む家庭での会話
- ・学校行事や地域活動への積極的な参加
- ・親子の会話を増やす

地
域

- ・地域の行事等での中学生の活躍の場の設定
- ・学校行事等への積極的な参画
- ・地域の安心安全な環境整備と見守り
- ・「スクールバス笑顔で手を振ろう宣言」への取組

特色のある教育活動

生徒の自主性を育む活動

～生徒の約束 30 ヶ条～

本校には開校当初から校則がなく、校則に代えて生徒による「生徒の約束 30 ヶ条」を制定している。全校生徒で毎年見直しを行い、開校当時の思いを再確認しながら自主的な活動を推進している。

～ノーチャイム～

同じく開校時から続いている。生徒たちは始業時から終日「ノーチャイム」で学校生活を送り、自分で時計を見て行動する習慣が身に付く。

～ふれあいランチタイム(全校給食)～

多目的室を食堂に仕立て、2ヶ月に一度全校生徒・教職員が一堂に会しての「ふれあいランチタイム(全校)」を実施している。(R2年度から未実施)

～全校生徒による縦割り活動～

全学年が少人数なので、学年単位の活動よりも学校全体の縦割り活動として多くの生徒会行事を行っている。

～駅清掃等の奉仕活動～

本校の真正面にJ R 仙山線熊ヶ根駅がある。地域の重要な交通拠点となっているが、無人駅であるため、地域ぐるみで清掃活動をしている。



交流活動

生徒数の減少に伴い、小規模校では経験し難い多様な体験活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み、競い合い、認め合う経験を積む目的で他校と交流活動をしている。平成 24 年度から折立中学校と交流活動を行い、平成 29 年度は、根白石中学校との交流活動を実施した。さらに、平成 30 年度からは根白石中学校・生出中学校・秋保中学校と 4 校で合同合唱コンクール (R5 年度からは合唱祭) 及び交流活動を実施している。

地域とともに歩む学校づくりの推進

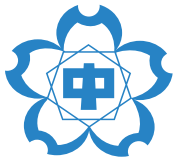
本校は、大倉中学校と熊ヶ根中学校の統合により設立された。それぞれの母体校の地域で継承されてきた伝統的な行事をそのまま引き継いで実施することは難しい面もあったが、宮城西市民センターと連携しての地域行事や防災訓練、「西市民まつり」など、地域の方と交流する機会を大切にしながら、地域とともに歩む学校づくりを目指している。

主な学校行事◆

- 4月 着任式・1学期始業式、入学式、新入生を迎える会、仙台市標準学力検査・生活学習状況調査、全国学力・学習状況調査、授業参観・全体保護者会・学年保護者会・父母教師会総会
- 5月 3年修学旅行、2年野外活動、1年弟子入り体験
- 6月 生徒総会、市中総体激励会、市中総体、1学期中間考査、4校交流学习
- 7月 4校交流学习(合同合唱祭)、県中総体、夏季休業、教育相談
- 8月 夏季休業、実力考査、中学生のハローワーク、交流学习(折立中・ソーラン発表会)
- 9月 広陵祭、1学期期末考査、立会演説会・選挙
- 10月 授業参観・学年保護者会、1学期終業式、市新人大会、2学期始業式、地域合同防災訓練、校内スポーツ大会、3年進路説明会
- 11月 2学期中間考査(3年)、2年職場体験活動、1年校外研修、3年教育相談、3年ファイナンスパーク学習、生徒総会
- 12月 2学期中間考査(1・2年)、小中交流学习、冬季休業
- 1月 冬季休業、私立高校推薦入試、新入生入学説明会、私立高校入試、1天文台学習
- 2月 私立高校入試、2学期期末考査、3学年保護者会、3年生を送る会、2年科学館学習
- 3月 公立高校入試、同窓会入会式、卒業式、1・2学年保護者会、修了式、離任式



校章の由来



校章考案者：菅澤 純子氏 補正：関川 治男氏
 デザインのイメージのもとになったのは、この地の緑豊かな自然です。中という字は、小さな双葉を表しています。それがすくすく成長して、美しい花を咲かせるようにと、全体を花卉の形にしました。そこには、子供たちの未来が輝かしい素晴らしいものであってほしいという願いとともに、それぞれに結実した彼らの存在が、家庭や地域社会に明るさと豊かさをもたらすものであってほしいとの意味も込められています。重なり合った二つの五角形は、二つの中学校が統合されることで、子どもたちが、更に向上・発展していってくれるようにとの希望を表しています。

校木「ヤマザクラ」 (平成23年9月17日制定)

ヤマザクラは日本に自生する桜の代表的な種であり、数多くの和歌にも詠まれています。

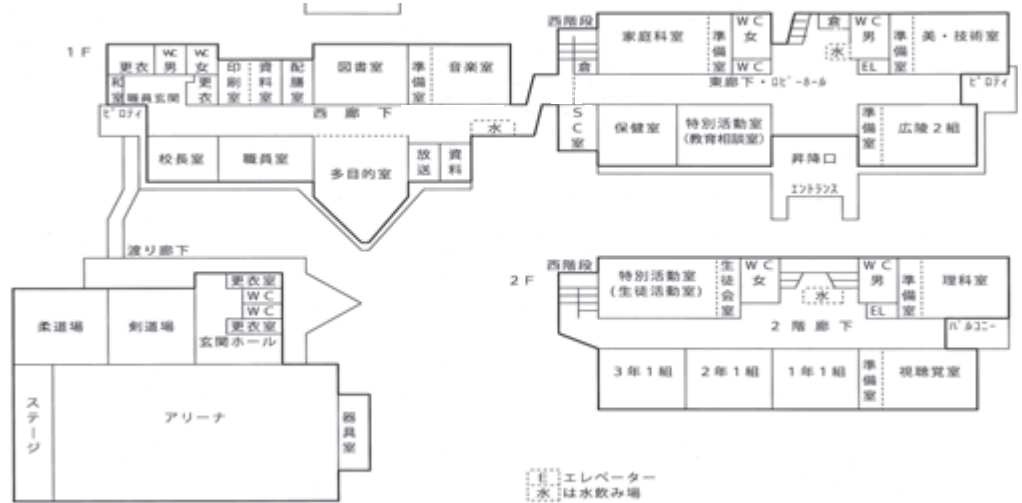
丘陵地帯に生育し、春には白色、淡紅色や深紅紫色などの美しい花を咲かせます。花は広陵中の校章と同じ5枚の花弁からできています。また桜の中でも寿命が長く、樹齢700年を超えるものもあり、幹の太い樹高25mもの大木に成長します。ヤマザクラのように、たくましさの中にも、優しさと品格をもった広陵中生であってほしいという願いから、開校10周年を記念して山桜を校木に制定しました。将来への夢と希望に向けて道を拓く広陵中生を見守り続けてほしいと思います。



生徒数 (令和5年4月1日現在)

学年	男子	女子	計
1	5	4	9
2	6	5	11
3	11	2	13
合計	22	11	33

令和5年度 校舎平面図



職員一覧

職名	学年	担当教科	主な校務分掌	部活動
校長				
教頭		数 学	校務総括・父母教師会事務長	
教諭	教務主任	理 科	教務主任・フレッシュ先生研修	総合文化
教諭	1学年主任	英 語	管理主任・総合的な学習	男子ソフトテニス
教諭	1年1組担任	数 学	情報主任・GIGAスクール	男子ソフトテニス
教諭	2学年主任	数 学	生徒指導主事・いじめ対策	女子ソフトテニス
教諭	2年1組担任	社 会	教科書・自分づくり教育	卓 球
教諭	3学年主任	国 語	進路指導主事・防災主任	卓 球
教諭	3年1組担任	保健体育	特活主任・不登校支援コーディネーター・特支コーディネーター	女子ソフトテニス
教諭	広陵2組主任	音 楽	研究主任・特支コーディネーター	総合文化
講師	広陵2組担任	家 庭	特別支援学級・学籍	総合文化
養護教諭			保健主事・給食主任・清掃指導	
事務			事務管理	
嘱託技師			学校用務	
嘱託技師			学校用務	
ALT		英 語	英語指導助手	
非常勤講師		美 術	非常勤講師	
非常勤講師		技 術	非常勤講師	
ICT支援員			ICT校務支援	
給食搬送パート			給食搬送	
図書事務			図書事務	
図書事務			図書事務	
スクールカウンセラー			教育相談	
部活動指導員			部活動指導	

日課時程表

	50分
朝学習	8:15 ~ 8:25
朝の会	8:25 ~ 8:35
1校時	8:40 ~ 9:30
2校時	9:40 ~ 10:30
3校時	10:40 ~ 11:30
4校時	11:40 ~ 12:30
給食	12:30 ~ 13:05
昼休み 歯磨き	13:05 ~ 13:25
5校時	13:25 ~ 14:15
6校時	14:25 ~ 15:15
清掃 帰りの会	15:15 ~